



私たちから変わろう!!



～まずは言葉から～

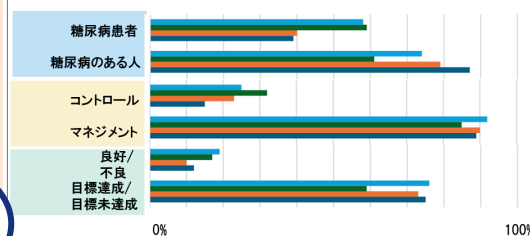


患者さんが話しやすい環境作り
⇒そのための『言葉』

医療者のことばで
患者さんの答えは
違ってくる

ダイアベティスに関連する言葉の受け入れ

当事者にとって受け入れられる言葉とは



1型ダイアベティス ■ 2型ダイアベティス ■ その他 ■ 両親 ■
(Litterbach E et al. Diabetic Med. 2024)



スティグマを生じうる医療用語から改革する

使用するべきではない言葉 使用するべき言葉

* 使わなければ伝わらない場合ある

服薬(注射)コンプライアンス、 アドヒアランス	服薬(注射)実施率 (○○%)
血糖コントロール	血糖マネジメント(管理)
血糖コントロール不良	治療目標未達成
糖尿病患者	糖尿病のある人

* 中立的で、非断罪的、患者とのコラポレーションを促す言葉の使用を推奨するが
医療者のカンフルシス、論文、企業パンフレットの論文引用には使用してよい
学会・協会名は歴史を含む命名なので変更する必要はない

糖尿(×侮蔑的)	この言葉は使用しない
療養指導	治療支援、治療アドバイス
生活習慣病	検討中
糖尿病	NCDs 見直し

(日本糖尿病協会提供、清野・裕 糖尿病-2023)

スティグマを
付与しない、
より適切な
日本語表現を
提案するべき

相互理解

患者さんも
チームの一員!

受診を“コンサル”って
かっこいいね☆三

私たちの言葉・姿勢から
患者さんの力を引き出す!!